

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成18年度～		根拠法令・例規等	備前市災害対応型自動販売機設置運用に関する協定書
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	基本施策	04	安全で安心して暮らせるまちづくり			
	小項目	施策	02	消防・防災			
事務事業名		06	災害対応型自動販売機設置事業		問	担当課(室)	総務課
					答	職・氏名	消防防災係長 大西武志
					先	電話	64-1809

事業の実施		対象(誰・何に対して)	災害対応型自動販売機を設置している周辺の住民
目的(何のために)		目的	災害時での情報伝達、飲料水の確保を行うため
行政活動(どのような方法で)		行政活動	災害時において、市内26箇所に設置している災害対応型自動販売機のメッセージボードを利用したの迅速な情報伝達や、断水等で水道水が使用できなくなった場合に、災害対応型自動販売機内にある飲料水を無料提供
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		事業の意図する成果	設置業者との協定の締結

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	設置台数	台	24	1	1
実績	直接事業費	千円	32	48	0
	必要人員人件費	千円	0.20人	1.510	0.01人
業績	事業費	千円	1,542	148	257
	事業費計	千円	1,542	148	257
財源	国・県・支・出・金	千円			
	受・益・者・負・担・金	千円			
その他	市・債	千円			
	一・般・財・源	千円	1,542	148	257
受・益・者・負・担・比・率		%			

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結果指標量	設置台数	24	1	1
	対前年対比	%	-	4.2%	100.0%
	活動コスト	円	1,542,000	148,000	305,000
	単位当たりコスト	円	64,250	148,000	305,000
結果指標②	結果指標量	-			
	対前年対比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
-	目標値(A)	-	-	-	-
	実績値(B)	-	-	-	到達目標年度
	達成率(B/A)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	-
成果指標設定の考え方・式や説明					
-					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		B
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	判定理由・課題認識		
	市民ニーズ	災害時の情報伝達、飲料水の確保の観点から、コカ・コーラ ウェスト側の協定締結は妥当である。		
効率性の評価	コスト	効率性評価<A~E>		B
	目的達成度	判定理由・課題認識		
有効性の評価	市民参画度	有効性評価<A~E>		C
		判定理由・課題認識		

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	18年度のみ設置予定であったが、19年度に引き続き、20年度も総合防災訓練に展示、運用して新規に設置した。現在特に新規設置の予定なし					

総合評価		評価区分<A~E>	B
災害対応型自動販売機に搭載しているメッセージボードを利用して、市民に防災情報を伝えることができるため、情報伝達の一つの方法として有効である。また、災害時には無料提供により飲料水の確保ができる。			

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	人が多く集まる場所には既に一般の自販機が設置されており、新規の設置場所を探すのは困難であるため、現状を維持していく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。